

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

ゆたかな世界を、実装する。テクノロジーの産業界への社会実装を支援し、産業横断的なイノベーションを創出し、社会に貢献し続ける。

② 中長期の経営戦略

1. 生成AI・LLM・AIロボティクス

LLMのミッションクリティカル業務への導入拡大と、次の成長領域としてAIロボティクス実装に取り組む。基盤モデルはコスト対精度を重視した大規模・中規模モデルを注力領域に。

2. ABEJA Platform拡充

多様化・複雑化する顧客課題に対応するため、機能追加と既存機能の改善を継続的に実施。AIエージェント、ガードレール、プライバシー保護等の周辺領域機能を充実。

3. 顧客基盤の拡大・深耕

新規顧客獲得と既存顧客との取引関係多様化により収益基盤を拡大。ミッションクリティカル性が高い業務へのAI導入実現を目指す。

4. 人材採用・育成・カルチャー

多様な経歴・専門性を持つテクノプレナー人材を継続採用。最先端技術案件の豊富さ、実運用思想、CDO輩出集団としての魅力をアピール。

③ 対処すべき課題

① 人材確保と育成

- ・ 生成AI・LLM・AIロボティクスの技術進化に対応できるテクノプレナー人材の確保
- ・ 働きやすく自己研鑽できる環境・仕組みの整備

② 認知度向上と信頼構築

- ・ カンファレンス開催、広報活動、技術ブログ発信による認知度向上
- ・ 研究開発活動の公開とマーケティング施策の推進
- ・ 人材採用・新規顧客獲得への波及効果

③ システム・情報セキュリティ強化

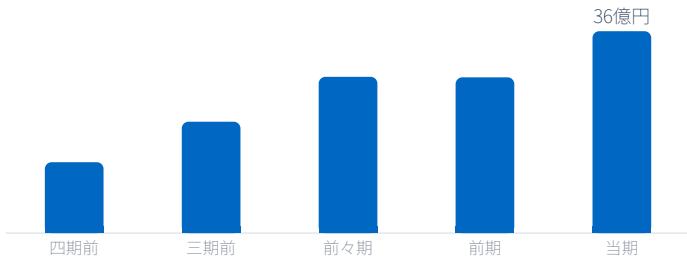
- ・ インターネットサービスの安定稼働とサーバー設備強化
- ・ 2025年ISMS認証取得済み、プライバシーマーク2018年取得
- ・ 機密情報・個人情報管理と内部統制の継続強化

面接で使えるポイント

- ・ 2012年創業、ディープライニング登場と同時期の起業。AI・IoT・ロボット活用による第4次産業革命対応の最前線に立つ企…
- ・ ABEJA Platformとテクノプレナリシップによる一気通貫型サービスで…
- ・ LLMの深化・拡大局面とAIロボティクス、NEDO「ロボティクス分野の生成AI基盤モデル開発」プロジェクト参画で次の成長…

証券コード 5574

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
81点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 63.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
953万円

情報・通信業内 37位/592社

平均年齢
36.7歳

情報・通信業内 371位/593社

平均勤続
2.7年

情報・通信業内 556位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

